

MISUMI Art Collection

『Target with Four Faces』 1979年

ジャスパー・ジョーンズ

ジャスパー・ジョーンズは1930年に生まれ、抽象表現主義、ネオ・ダダ、ポップアート運動における代表的なアーティストです。

彼は、1955年から1961年にかけて、「標的」をテーマにした作品を制作し、「標的」は彼の名声を高めるきっかけとなった作品のひとつです。

一見してすぐにわかる「標的」ですが、おなじみのモチーフを単純に再現したものではありません。一旦、標的が審美的に見られると、一般化されたデザインとしての用途を失います。記号であることを止め、イメージになるのです。その自明性は推測的なものへと変わります。

実は我々は対象を明確に理解しているわけではないのです。

 **MiSUMi** | Your Time, Our Priority

ミスミグループ通信 vol.64

2025年4月1日～2025年9月30日



© Jasper Johns / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo 2025 E6188

MISUMI Art Collection

ジャスパー・ジョーンズ 『Target with Four Faces』

解説は裏表紙をご覧ください。

株式会社 ミスミグループ本社

〒102-8583 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス
TEL:03-6777-7501 FAX:03-5211-7502
URL: <https://www.misumi.co.jp/>



株式会社 ミスミグループ本社

証券コード: 9962

ミスミのデジタルモデルシフトは着実に進展、 7月から連結対象とした米国Fictiv Inc.も堅調で、 通期業績予想を上方修正



代表取締役会長
西本 甲介

代表取締役社長
大野 龍隆

当中間連結会計期間における世界経済は、アメリカの関税政策やそれに伴う各国への影響、不安定な為替相場など先行き不透明な状況が継続しました。これにより主要顧客産業である自動車関連の稼働低迷の影響を受けまし

た。一方、中国・アジアを中心に、通信関連や電子・電機関連等の需要は堅調に推移しました。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしています。これを支え

る事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用しながら、新商品・新サービスを含む新事業開発を継続し、顧客の需要を的確に捉えることに努めましたが、一部地域においてはアメリカの関税政策による需要低迷の影響を受けました。

この結果、連結売上高は205,814百万円（前年同期比3.9%増）となり、上期として過去最高を更新しました。セグメント別では、FA事業は日本の設備投資需要が低調に推移も、中国の通信関連需要の攻略をはじめ、meviy、エコノミーシリーズ、D-JIT等の独自施策による需要獲得で海外地域が総じて堅調に推移したほか、7月から米国Fictiv Inc.（以下「Fictiv社」）の業績を連結対象としたこ

とから、売上高は72,743百万円（前年同期比8.8%増）となりました。金型部品事業は中国・アジアの成長が、自動車関連の需要低迷で弱含むその他地域をカバーするも、売上高は前年同期に届かず42,573百万円（前年同期比0.6%減）となりました。VONA事業は中国・アジアを中心に堅調に推移し、売上高は90,498百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

利益面につきましては、独自施策による数量増等の改善効果はあるものの、持続的成長に向けた施策に関わる支出の継続、為替影響および7月からFictiv社の業績を連結範囲に含めた影響により、営業利益は19,618百万円（前年同期比16.1%減）、経常利益は20,397百万円（前年同期比19.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は13,997百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

デジタルモデルシフト第4弾「MISUMI flow」、日本本格導入

通期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間は、アメリカの関税影響を受け自動車関連産業は低調に推移し、日本・欧州を中心に不透明な状況が継続しました。一方、7月より業績を連結範囲に加えたFictiv社を含む独自施策は概ね計画どおりに推移しました。これら上期までの進捗に足元の為替動向やFictiv社の業績堅調を勘案し、2025年10月31日公表のとおり上方修正を行い、売上高は過去最高を更新する見込みです。

今後の主な取り組みとしましては、引き続き、多様化が

進む自動化顧客ニーズに対応すべく、デジタルモデルの継続開発に努めるとともに、地域毎成長戦略とのシナジーにより、ユニークな競争優位性を築いてまいります。

「デジタルモデルシフト」の第1弾として展開しているオンライン機械部品調達サービス「meviy」については、累計利用者数がグローバルで21万人を超え、日本のみならず海外でも浸透が加速しています。この7月より連結対象としたFictiv社も堅調に推移しました。同社は米国でカスタム機械部品のオンライン調達サービスを提供しており、

Top Message

トップメッセージ

今後、リーン化やクロスセル、事業領域拡大などでミスミとのシナジーを計画し、さらなる成長を見込んでいます。

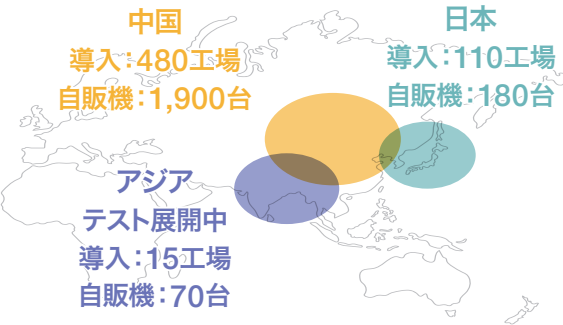
第2弾である価格競争力に優れた「エコノミーシリーズ」については、価格感応度の高い中国・アジアを中心に高成長が継続しています。今後もさらなる成長加速に向け、新カタログ、現地調達、マーケティングなど、各地域に適した強化を図ってまいります。

第3弾の大量調達でも顧客希望数量に短納期で応える「D-JIT」については、海外展開の加速により、上期の海外売上高は前年同期比130％増と大きく伸長しました。下期には米国やメキシコ、インドへの基幹システム導入を予

定しており、さらにD-JIT活用地域を拡大する計画です。

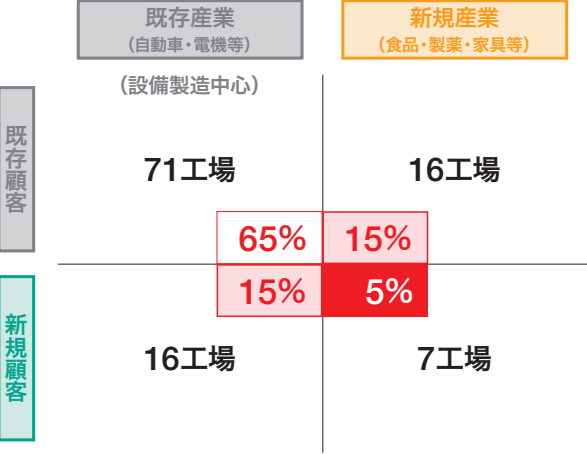
そして、これらに続く第4弾として、日本では当期から本格スタートしたのが、間接材トータルコストダウンサービス「MISUMI flow」です。上期時点、先行展開していた中国では480工場、日本でも110工場まで導入が広がってきました。今後は中国・日本でのさらなる普及とともに、アジアでの展開も進めてまいります。この事業では、当社の従来からの顧客ドメインである自動車・電機などの業種に加え、食品や製薬、家具などの新規業種への顧客開拓にも成功しています。今後も、MISUMI flowシステムの機能増強によって新領域の需要開拓を狙ってまいります。

MISUMI flow導入状況 (FY25上期進捗)



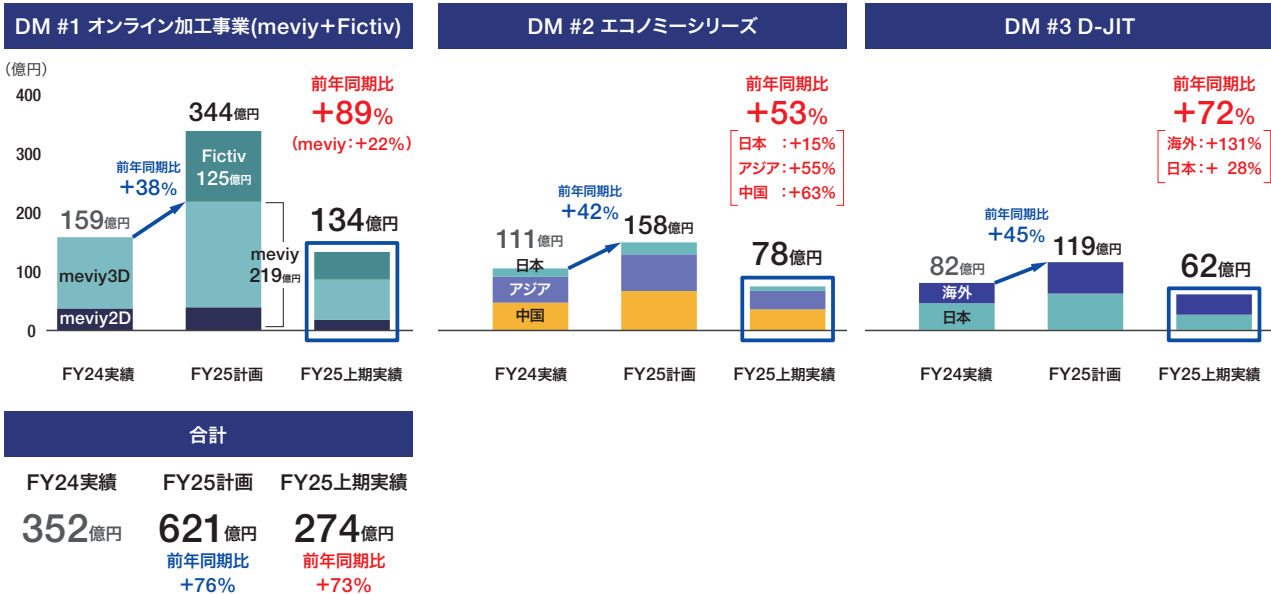
※FY24期末時点
中国：420工場、自販機1,700台
日本： 50工場、自販機 110台

MISUMI flow導入国内110工場の内訳



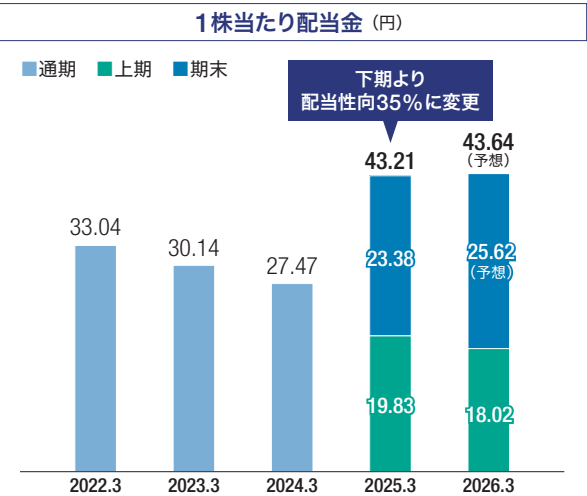
※FY24の購入実績がない顧客を「新規」と定義

デジタルモデルシフトFY25売上見通し



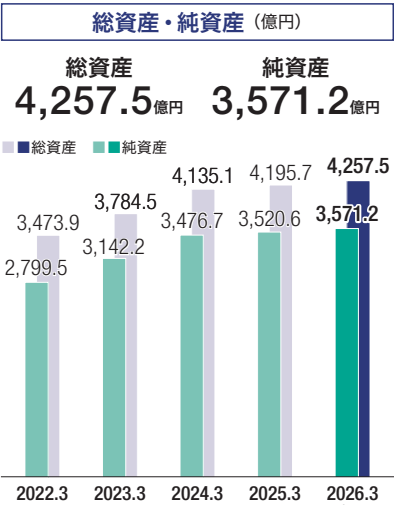
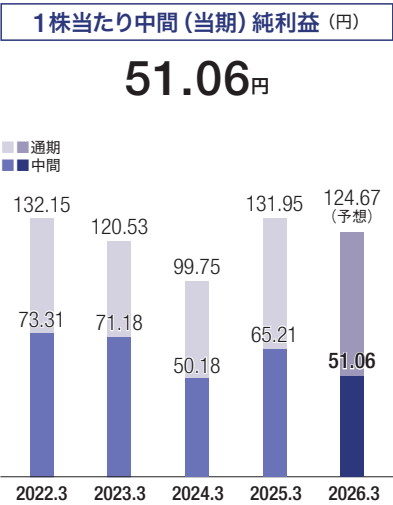
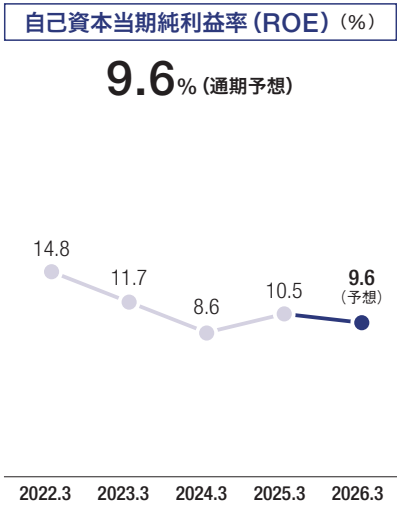
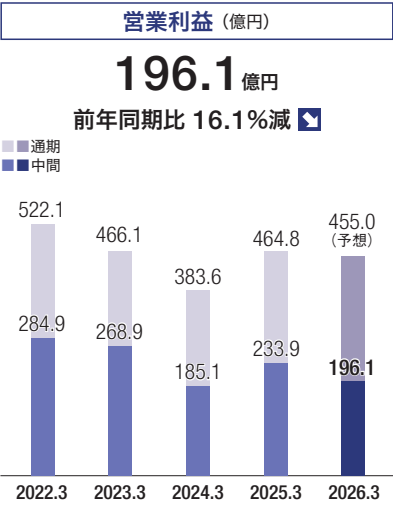
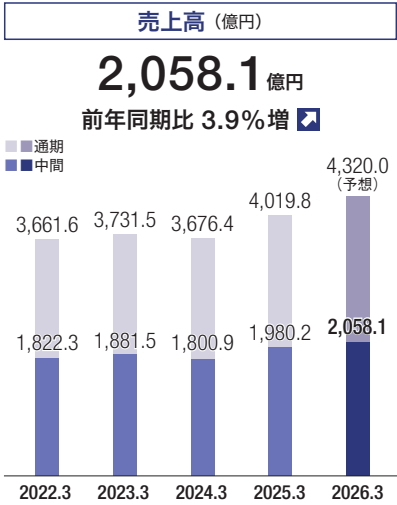
年間配当金は43円64銭で、増配の見通し

当社は、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元につきましては、バランスを取りながら実施しており、配当に関しましては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、2025年3月期の期末配当より配当性向35%を基準に決定しております。これにより、1株当たり中間配当金は18円02銭（前年同期比1円81銭減）とさせていただきます。期末配当予想につきましては、2026年3月期連結業績予想の修正により、1株当たり期末配当金を25円62銭（前年同期比2円24銭増）に修正し、年間配当金は1株当たり43円64銭の見込みとなります。



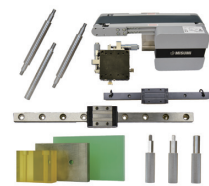
Financial Highlights

連結財務ハイライト



セグメント概況

FA事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売をしています。FA事業には、デジタル施策の「meviy」や「エコノミーシリーズ」、さらに2025年7月から連結対象としたFictiv社も含まれ、これらにより事業全体の成長が加速しています。

金型部品事業

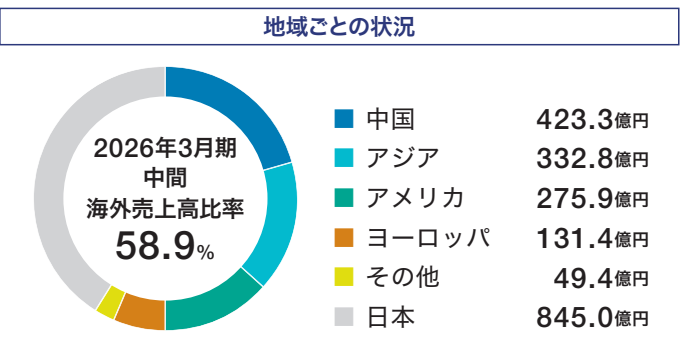
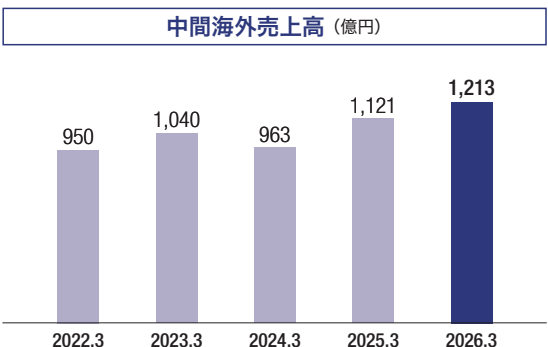
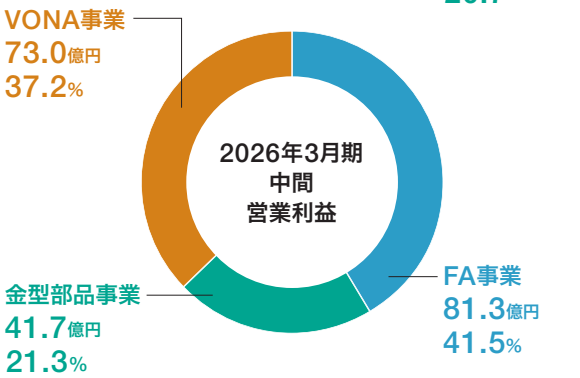
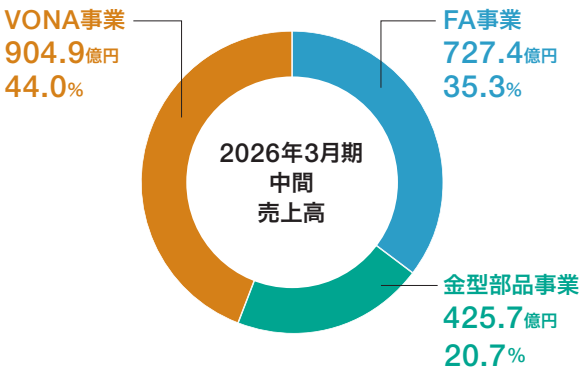


主に自動車、電子・電機機器分野に、金属塑性加工用プレス金型やプラスチック射出成形用金型に組み込む金型標準部品、精密金型部品の開発・生産・販売をしています。

VONA事業



他社商品も含めた自動化関連間接材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業です。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画しています。



詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家情報」へ <https://www.misumi.co.jp/ir/>

ミスミ IR 検索



Fictiv社買収による 製品開発領域へのドメイン拡張

2025年6月、当社はカスタム機械部品オンライン調達サービスを提供する米国Fictiv社を完全子会社化いたしました。Fictiv社の展開する事業は当社のmeviy事業と高い親和性があります。これを機に「オンライン加工事業」のさらなる展開を図るとともに、新たな顧客ドメインである製品開発領域への進出により、当社グループ全体の事業領域の拡張が期待されます。あわせて、米国市場での事業拡大に資するものと考えており、クロスセルの深化やサプライチェーンネットワークの活用を通じて、商品・顧客・地域の各軸におけるシナジー最大化を追求してまいります。

Fictiv社とは？

2013年の設立以降、米国製造業におけるカスタム機械部品のオンライン調達サービスを展開し、成長を加速させています。製品開発領域において高い専門性と実績、強力な顧客基盤を有し、高い優位性を保持しています。

数字で見るFictiv社

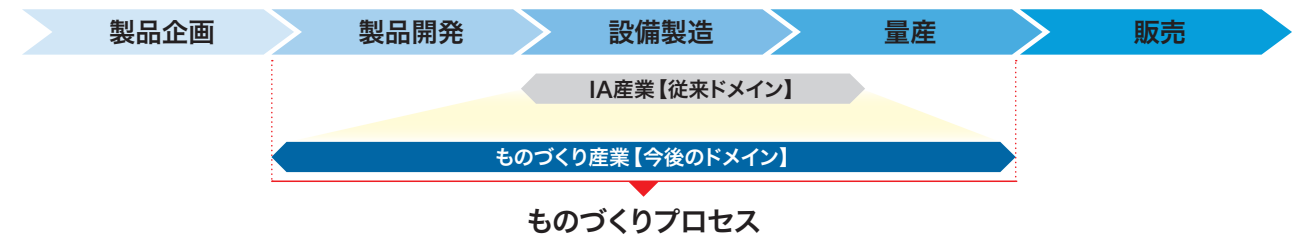
売上高※ 1.01 億ドル ※CY25見通し	売上高成長率※ +40% ※CY25見通し	取引先企業 5,000社以上
製造パーツ 3,900万点以上	従業員数 400人以上	協業パートナー 世界4拠点



POINT 1 事業ドメインの拡張

製品開発から設備製造、量産に及ぶバリューチェーン上のプロセスは、単なる製造業や自動化産業にとどまりません。ミスミはこの領域を“ものづくり産業”と捉え、より広域の範囲でものづくりプロセスを革新してまいります。

顧客のバリューチェーン



POINT 2 シナジー効果

シナジー創出へ向けた統合計画は着実に進行し、7月連結以降も堅調に推移しています。

フェーズ1

ミスミリソースを活用し、Fictiv社の成長加速

✓ リーン化

ミスミ協力工場で生産、国際・米国内輸送の共通化でコスト低減

✓ クロスセル

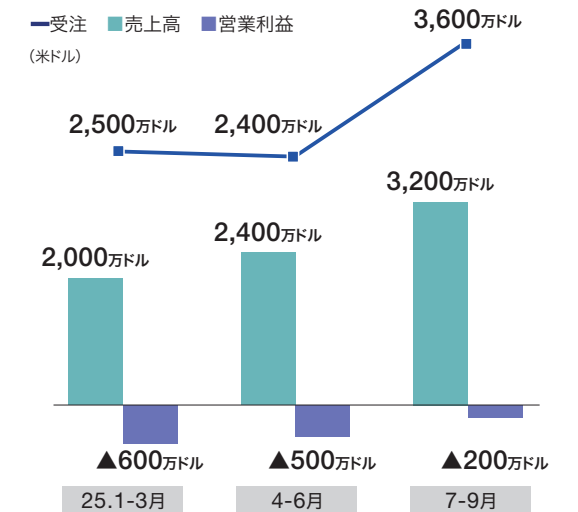
ミスミ顧客への共同営業開始、ミスミ信用力で大口受注獲得
今後、Fictiv顧客へのミスミ商品販売に着手

フェーズ2

ミスミ×Fictiv モデル統合

✓ 事業領域拡大

米国市場の限定顧客向け、新事業テストマーケティングに着手



Corporate Data

会社情報

会社概要

(2025年9月30日現在)

商号

設立

本社

資本金

事業内容

従業員数

URL

株式会社ミスミグループ本社

(英文名：MISUMI Group Inc.)

1963年2月23日


東京都千代田区九段南1丁目6番5号九段会館テラス

145億9千8百万円

FA事業・金型部品事業・VONA事業、各事業を中心とした企業グループの経営戦略・立案、管理・運営など

11,064名(2025年3月31日現在のミスミグループ連結)

<https://www.misumi.co.jp/>



ミスミグループトップマネジメント（2025年10月1日現在）

取締役							名誉会長	
代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆				三枝 匡	
取締役	清水 新	取締役	金谷 知樹	取締役	清水 重貴	取締役	徐 少淳	
取締役（筆頭社外）	中野 庸一	取締役（社外）	栖閑 智晴	取締役（社外）	矢野 圭子	取締役（社外）	Figen Ulgen	

管掌役員								
会長 兼 人材・法務プラットフォーム・ハブ代表役員	西本 甲介	社長	大野 龍隆		専務執行役員 CIO 兼 Newtonモデル開発・ハブ代表役員	清水 新		
専務執行役員	金谷 知樹	専務執行役員	清水 重貴		専務執行役員	荒川 亨		

執行役員					
常務執行役員 中国リージョン・ハブ代表役員 兼 アジアリージョン・ハブ代表役員	徐 少淳	常務執行役員 IDビジネス・ハブ社長 兼 Fictiv Inc. Chairman	吉田 光伸	常務執行役員 CFO ファイナンスプラットフォーム ・ハブ代表役員	高波 徹
常務執行役員 DLビジネス・ハブ社長 兼 米州リージョン・ハブ代表役員	大洞 龍児	本社執行役員 生産プラットフォーム・ハブ代表役員	遠矢 工	本社執行役員 Operational Excellence プラットフォーム・ハブ代表役員	荘司 秀佳
本社執行役員 Factory-MROビジネス・ハブ社長	馬場 隆	本社執行役員 デジタルサービスモデル開発 ・ハブ代表役員	川上 浩一	本社執行役員 流通サービスビジネス・ハブ社長 兼 Gatewayモデル開発・ハブ代表役員	鷲見 昌丈
本社執行役員 OSTビジネス・ハブ社長	渡邊 宣公	本社執行役員 Rapid Manufacturingモデル開発 ・ハブ代表役員	木戸 雄介	本社執行役員 欧州リージョン・ハブ代表役員	村田 規明
本社執行役員 DJシステムモデル開発・ハブ代表役員	山本 智博	Fictiv Inc. CEO 兼 ミスミグループ本社 本社執行役員 Fictivビジネス・ハブ社長	David Evans	Fictiv Inc. CXO 兼 ミスミグループ本社 本社執行役員 AIモデル開発・ハブ代表役員	Nathan Evans
本社執行役員 新領域開発ビジネス・ハブ社長	李 鎮旭	本社執行役員 金型ビジネス・ハブ社長	宮本 雄介	本社執行役員 メカトロニクスビジネス・ハブ社長	浦 仁史
本社執行役員 Enterprise Tech プラットフォーム・ハブ代表役員	力田 章				

監査役						創業者	
監査役	男澤 一郎	監査役	和田 高明		名誉会長・第2期創業者	三枝 匡	
監査役（社外）	青野 奈々子	監査役（社外）	市川 静代		特別顧問・創業者	田口 弘	



Shareholders Memo

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月		
基準日	定時株主総会・期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)		
同送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場		
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/		

書面交付請求について ～インターネットのご利用が困難な株主さまへ～

株主総会資料は原則ウェブサイトでのご提供となります。
その為、従来どおり株主総会資料を書面で受領ご希望の株主さまは、お手続きが必要となります。

▶ 書面交付請求の受付期限は、株主総会の基準日までにお申し出が必要です。

▶ お手続き方法については、お取引のある証券会社または株主名簿管理人にお申し出ください。

注 意 事 項	
業績予想に関する留意事項	この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
住所変更、買収請求その他各種お手続きについて	原則、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。